

みらいプロジェクト 4年

単元	咲かせてニコニコ！わたしたち幸せ届ける笑 学生（落語や漫才等の芸） ※落語の場合			
目標	相手に合わせて話すことの大切さと楽しさ、そして人を笑わせて楽しませることは自分も楽しむことが大切であることの概念的な理解をし、自分の生き方を見つめ直す。			
評価規準	(①知・技) 人を楽しませて幸せにすることや人を楽しませる芸の歴史、間の取り方やリズム等の話し方、楽しませる要素といった、芸の特徴やよさを理解している。 調査結果や芸の特徴やよさの分類・比較をする思考ツールを使い、他者の考えの把握し自分の考えを解決方法に生かしている。 (②思・判・表) 人を楽しませて幸せにすることについての課題を設定し、芸について調べ、調べたことや他者の発言から必要な情報を見付け解決方法を導き実践している。 (③主体的態度) 人を楽しませて幸せにすることへの関心を高め、取組への思いや自信をもち、人を楽しませることについての自己の生き方の変化を感じている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
であう	1	○学級目標とこれまでの対象や先輩たちが関わってきた人・もの・ことを基に、関わる人・もの・ことを選択する視点について話し合う。	○昨年度の探究の経験から探究のよさを想起できるように、過年度のくすの木タイム（みらいプロジェクト）での具体的な活動と、その際の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。	
	4	○関わる人・もの・ことの候補を挙げ、選択する方法を話し合ったり、それらについてwebサイトや図書資料、試しのお笑い体験、お笑いについてのニーズ調査等で情報収集をしたりする。	○落語や漫才、コント等のお笑いから関わりたい人・もの・ことを決めて人を笑わせて幸せな気持ちにしたい思いをもてるように、落語や漫才、コント等の動画の視聴や専門家の実演の感想を整理する「笑う楽しさ」「笑い以外の楽しさ」の視点を提示する。	
	2	○人を楽しませることについて収集した情報を整理し、関わりたい人・もの・ことを決める。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     学習のめあて                      人を楽しませ、自分も楽しめる笑学生落語家になろう                 </div>	○関わる人・もの・ことの候補の落語や漫才、コント等の特徴・よさを比較できるように、関わる人・もの・ことを選択する視点と、メリット・デメリットの思考ツールの用意をする。	
かかわる	2	○落語の印象調査をし、その結果を基に、課題をつかむ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     課題：人を楽しませ、自分も楽しめる落語家になるには、どうしたらよいのだろう。                 </div>	○落語の「自分で考えるのが難しい」や「想像するのが難しい」といった印象を改善する必要感をもてるように、印象調査や今までに得た、芸の特徴やよさを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	
	4	○リレー紙芝居落語等を開発する計画を立て、落語の歴史、所作、噺等について専門家への質問やWebサイト、図書資料で調べる。	○リレー紙芝居落語等で人を楽しませられた状態を具体的に想定できるように、落語の特徴やよさを整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。	
	4	○選んだ噺が同じ人と班を作り、班ごとに演者、紙芝居等の分担を決め、練習や必要なもの作りをする。	○班で落語の噺の場面ごとに必要な役割や絵を考えられるように、課題を解決した状態の具体図とマトリクスの思考ツールの用意をする。	
	5	○試しの落語会をし、他の班からの感想を基に改善策を話し合い、必要な情報を調べて、練習や修正をする。	○「言葉の速さ」や「絵の内容」、「自然な所作」等の多様な角度から改善策を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図と、落語会の感想を書いた付箋紙を整理するPMNシートの用意をする。	
	2学期 ↓	5	○試しの落語会をし、専門家からの感想を基に改善策を話し合い、必要な情報を調べて、練習や修正をする。	○「聴き手に合わせる」や「間の取り方」等の新たな角度から改善策を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図と、専門家からの感想を整理するPMNシートの用意をする。
	4	○校内で落語会をし、校内児童からの感想を基に今までの成果を話し合う。	○落語会に来た校内児童や教員の感想を基に課題の解決状況を評価できるように、課題を解決した状態の具体図とアンケート結果の用意をする。	
	2	○自分たちの落語への評価を基に、気付きや疑問を話し合い、課題をつかむ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     課題：落語で多くの人に楽しんでもらうには、どうしたらよいのだろう。                 </div>	○自分たちの落語を発信する目的と相手を明確にできるように、学習のめあてに至った過程や、校内での落語会のアンケート結果をまとめた模造紙の用意をする。	

評価項目<評価方法(観点)>  
 ※太字は「記録に残す評価」

◇関わりたい人・もの・ことを選択する視点として、「人も自分も楽しめるもの」「協力してできるもの」といった、学級目標や探究の経験を基とした思いを記述したり発言したりしている。  
 <学習プリント・発言③>  
 ◇関わりたい人・もの・ことを自分なりに決め、その理由として笑って「笑う楽しさ」「笑い以外の楽しさ」といった、関わる人・もの・ことを選択する視点を記述している。  
 <学習プリント②>  
 ◇**選択する視点に照らして、関わる人・もの・ことを決めた根拠を複数記述している。**  
 <学習プリント①②③>

◇今までに得た、落語の特徴やよさを基に、これから取り組みたいことを記述したり発言したりしている。  
 <学習プリント・発言②>  
 ◇落語の特徴やよさを複数、記述したり発言したりしている。  
 <学習プリント・発言①>  
 ◇課題を解決した具体図と、噺のおもしろさの中心を基に、噺の場面ごとの役割や絵の案を記述したり発言したりしている。<学習プリント・発言②>  
 ◇**自分たちの班の落語の改善策を、根拠を明確にして記述している。**  
 <学習プリント②>  
 ◇自分たちの班の落語の改善策を、新たな角度から根拠を明確にして記述したり発言したりしている。  
 <学習プリント・発言②>  
 ◇今までの取組の成果を記述したり発言したりしている。  
 <学習プリント・発言③>  
 ◇**今までに得た、自分たちの落語への評価を基に、これから取り組みたいことを記述している。**  
 <学習プリント・発言①②③>

	5	○市民への落語会を開催する計画を立て、開催場所の候補や必要な手続き、PRする方法の候補等について専門家への電話をしたりWebサイトで調べたりする。	○自分たちの落語で多くの人を楽しませられた状態を具体的に想定できるように、落語の魅力を整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。	◇落語の特徴やよさを複数、記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言①＞
	5	○落語会をPRする方法を話し合い、分担をして、ポスターやチラシ等の下書きを作成する。	○落語会をPRする方法とその根拠を明らかにできるように、課題を解決した状態の具体図とメリット・デメリットの思考ツールの用意をする。	◇課題を解決した具体図と、PRする方法の特徴・よさを基に、PRする方法について記述したり発言したりしている。＜学習プリント・発言②＞
	4	○作成したポスターやチラシの下書きを見合い、改善策を話し合って修正する。	○伝えるべきことが「一目で分かる」や「見やすい」等の新たな角度から改善策を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図と、図工や国語の教員からの感想を整理するPMNシートの用意をする。	◇作成したポスターやチラシの下書きの改善策を、根拠を明確にして記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
	6	○落語会に向けた運営の役割分担決めや練習、リハーサルをする。	○落語会の運営に必要な役割分担を考えられるように、客席や人員配置の案を示した会場図の用意をする。	◇落語会の運営に必要な役割分担について、根拠を明らかにして発言している。＜発言②＞
	4	○落語会を開催し、参会者からの感想を基に成果と改善点について話し合う。	○参会者からの感想を成果と改善点に分類できるように、課題を解決した具体図と落語会の録画VTRの用意をする。	◇自分たちの班の落語や落語会の参会者の感想について、根拠を明確にして記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
3学期 ↓	4	○落語会の成果と問題点を基に、改善策を話し合い、練習や修正をする。	○「自分も楽しむ」等の新たな角度から改善策を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図と、参会者と専門家からの感想を整理するPMNシートの用意をする。	◇自分たちの班の落語や落語会の改善策について、根拠を明確にして記述している。 ＜学習プリント・発言①②③＞
	7	○落語会を開催し、参会者の感想を基に成果について話し合う。	○落語会を開催した成果を実感できるように、課題を解決した状態の具体図と、参会者と専門家の感想の用意をする。	◇自分たちの班の落語や落語会の成果を記述したり発言したりしている。＜学習プリント・発言②＞
・まいと かめ する	2	○1年間の取組の成果を基に、実社会へ貢献することと探究的に学ぶことの価値について話し合う。	○人を楽しませて幸せにすることが自分の幸せにつながるという概念的な理解や自分の生き方の変化を実感できるように、単元始めの人を楽しませて幸せにすることと落語への印象を記述した学習プリントと掲示物の用意をする。	◇人を楽しませて幸せにすることに対する概念的な理解や変化した自分の生き方への思いを記述している。 ＜学習プリント③＞